



# 「インプラントと医療安全」

先日のインプラント使  
いまわし報道から、歯科  
特にインプラントについ  
ての安全性が問われてい  
る。近年、保険治療でも  
医療安全に対する要求度  
は高くなってきている  
が、医療安全の意味が患  
者さんに正しく伝わって  
いるのか疑問である。医  
療サイドの医療安全に対  
する正しい認識も、実は  
これから構築されていく  
段階にある。

さて「安全なインプラ  
ントがあるか」と聞かれ  
れば、「絶対に安全なイ  
ンプラントはない」と私



日本歯科医師連盟評議員 鈴木 龍

は答えている。インプラ  
ントに限らず安全な医療  
はない。無いということ  
を理解するから安全な医  
療を求めて努力する。し  
かし努力だけでは医療安  
全のレベルは上がらな  
い。医療知識を勉強し、  
ヒヤリハットの分析と対  
策に組織で取り組まなく  
てはいけない。

もともと医療安全は、  
アメリカでの「高度な医  
療を行っているところ  
は、医療安全もしっかり

## 正しい認識 選択基準に

している」とした統計か  
ら始まっている。今回の  
使いまわし事件で被害者  
となってしまう患者さ  
んの、求めていたのは果  
たして高度な医療だった  
だろうか。安いこと、イ  
ンプラントの本数を多く  
行っていることが患者さ  
んの選んだ基準ではなか  
ったか。

医療安全にはお金がか  
かる。あまりに安いイン  
プラントは医療安全の立  
場から疑問である。安い  
ことを選択基準にするの  
は非常に危険である。し  
かし料金が安いからと言  
って、高度な医療テクニ  
ックを持っているとは限  
らない。インプラントを  
成功させるには歯周治療  
などの基本治療がしっか  
りで行われていなければ  
いけない。神経の治療や  
歯周治療は時間がかかる  
ので、インプラントばか  
りを行うことはできな  
い。本数にはおのずと限  
界がある。

患者さんのニーズが安  
いインプラントにあり、  
インターネットの不確実  
な情報に頼っている。今  
後もインプラントの医  
療事故はなくならないだ  
ろう。インプラントはし  
っかり治療されれば本  
当に良い治療方法である。

◇ ◇  
歯科医療をめぐる現状  
や課題、最新の治療技術  
などを日本歯科医師連盟  
評議員で歯科医師の鈴木  
龍さんに四週に一回のペ  
ースで寄稿してもらいま  
す。

すずき・りゅう 1983年  
東京歯科大卒。86年、袋井市内  
にすずき歯科医院を開業し、2  
004年同市高尾に移転。現在  
は医療法人社団八龍会理事長、  
日本口腔（こうくう）インプラ  
ント学会員、口腔インプラント

生涯研修センター講師、歯科医  
師臨床研修指導医など。すずき  
歯科医院は管理型研修施設及び  
東京歯科大、愛知学院大など3  
大学の協力型研修施設として、  
後進指導に力を入れている。袋  
井市小川町。53歳。